

特定非営利活動法人

色彩心理診断士協会 COMPAS

代表 栗山 恵

配偶者控除廃止から考える生き方塾

1. 事業の目的

税制の変化から、家族や家計にどのような変化が起こるか？配偶者控除を受けている女性が子育て、仕事、自分の未来について、どのような生き方をしていけばよいか・・・？控除廃止により家計に与えるダメージのお話を伺います。知らないと損をする！ライフワークバランスを考えるきっかけを提供します。

2. 事業の内容

磐田会場

開催日時：

平成 26 年 10 月 23 日（木）10：00～13：30

開催場所：磐田市豊田福祉センター

（磐田市弥藤太島 500-1）

スケジュール：

10：00～12：00 講演会と生き方塾

12：30～13：30 参加者同士の交流会

（自由参加：ランチをご持参）

参加人数：13名 男性1名 女性12名

講座内容：

①配偶者とは？控除廃止による税制変化と家計バランスについて

講師：白柳会計事務所 所長 白柳孝氏

②30代～70代の女性に尋ねる生き方塾

③質疑応答と参加者同士の交流会（持参したランチを



白柳氏の話真剣に聞く参加者

今話題の

あざれあ地域協議事業

配偶者控除廃止について考える生き方塾



税制の変化から、家族や家計にどのような変化が起こるか学びます。そして、配偶者控除を受けている女性が子育て、仕事、自分の未来について、どのような生き方をしていけばよいか・・・？
 専業主婦が社会と関わろうとすると時に知っておきたい配偶者控除の廃止の問題と103万、130万の壁と言われる話が家計に与えるダメージのお話を伺います。知らないと損をする！
 ライフワークバランスを考える切欠を提供します。



開催日時：平成 26 年 10 月 23 日（木）10：00～13：30

講演会と生き方塾：10：00～12：00

参加者同士の交流会：12：30～13：30（自由参加：ランチをご持参ください）

開催場所：磐田市豊田福祉センター（磐田市弥藤太島 500-1）TEL 0538-36-8195

定員：50名 どなたでも参加できます

講座内容

① 配偶者とは？控除廃止による税制変化と家計バランスについて

講師：白柳会計事務所 所長 白柳孝氏

② 30代～70代の女性に尋ねる生き方塾

③ 質疑応答と参加者同士の交流会（持参したランチを食べながら交流します）

参加費用：500円（託児費用別途 500円）

※ 託児について：費用 500円 6か月以上児対象 先着 10名まで

申込方法：NPO法人 色彩心理診断士協会 COMPAS メ切：10月20日（月）

電話、ファックス、Eメールにて。住所、氏名、電話番号をお申込み下さい。
 託児の方については、お子様の名前、年齢、性別、保護者氏名、ファックス番号かメールアドレスをお知らせください。改めて持ち物等の連絡をします。

TEL 0538-36-3486 FAX 0538-36-3487

MAIL : info@npo-compas.com <http://www.npo-compas.com>

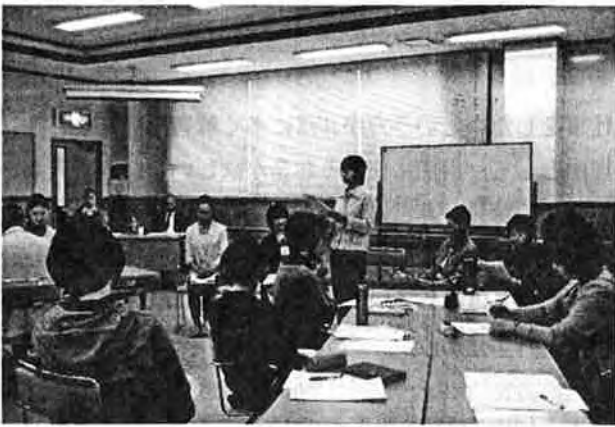


主催：NPO法人 色彩心理診断士協会 COMPAS

共催：子育てサポーターほれほれ・NPO法人あざれあ交流会

食べながら交流)

★「女性が輝く社会」を作るために、女性が社会で活躍できない原因の1つである「配偶者控除」の見直しについて考えてみたい・・・という話でスタートした基調講演。まず初めに配偶者とは？という基本的な概念についてお話し下さいました。そしてその配偶者に対する所得税法上の配偶者控除の知識を、わかり易く制度について、2種類の控除とその適用条件に付いてご説明下さいました。仕事をしていない方も多く参加いたため、所得と収入の違いという基本的な違いから説明をしていただき、TVなどでよく言われる「103万の壁」「130万の壁」というものが、どういうものなのか？の説明をいただきました。非常にわかり易く、段階的に控除の金額が変化する話を聞いた受講生は、103万、130万で控除が全てなくなってしまうのではないという理解が出来ました。と感想を発表してくれました。重要なことは、世帯（夫婦）年収と世帯時



意見交換をする参加者

間の割合を把握すると良いというお話、一同目から鱗が落ちました・・・という感想が飛び出しました。

★本当に「女性が輝く社会」が目的か？

次にお話くださったところは、一般的に政府の経済財政諮問会議の民間議員から上記のような目的を掲げて提言案を取りまとめられましたが、本当にそれが目的なのか？ということをお白柳氏の独自の目線からお話をしてくださいました。

表向きの話、裏の話、闇の話という3方向から、「女性の働く機会を応援する」と伝えている新聞やテレビ報道の見方、読み方についてお話をしてくださいました。まったく違う方向から真意を探ってみるということ自体認識がない参加者からは、納得の声が漏れました。

白柳氏の伝えたい真意とは、

- ①人口減少と労働力減少に対する日本の国力低下に対する危機感
- ②できちゃった婚を容認する風潮から家族の団結力を無くす思惑
- ③男女共同参画の意味と男女の役割をはき違えない賢い人を目指そう

新聞や報道の在り方全てを鵜呑みにしない！自分なりに感じ、考え、左右されない自分作りもとても大切であるということを示してくれました。

★30代～70代の女性に尋ねる「生き方塾」

発表者には、事前にプロフィールを尋ね、配布資料に盛り込みました。詳細はそのプロフィールを参照していただき、各年代の代表者には、

- ①仕事をしているか？仕事をするにあたって考えた事
- ②今の気持ち
- ③困っている事、困った出来事があれば
- ④嬉しかった事、嬉しかった出来事について
- ⑤今後どういった生き方をしたいか？参加者へメッセージについて等身大のお話をさせていただきました。

これからのあなたの家計を考える！

仕事をしている・していないに関わらずあなたの家計に影響のある控除についての勉強会



仕事をしている・していないに関わらず、税制改革からあなたの家計に影響のある控除について学びます。女性が社会と関わろうとすると知っておきたい配偶者控除の廃止の問題と103万、130万の壁と変わる話が、家計に与えるダメージのお話を伺います。
また、配偶者控除を受けている女性が子育て、仕事、自分の未来について、どのような生き方をしていけばよいのか？情報共有しませんか？知らないと損をする！お金と生き方のお話し。

開催日時：平成26年11月21日（金）10：00～13：30

講演会と生き方塾：10：00～12：00

参加者同士の交流会：12：30～13：30（自由参加：ランチをご持参下さい）

開催場所：mama's ShareShop Soramame（菊川市本所 1171-4 TEL0537-35-2781 倉部）

定員：30名 どなたでも参加できます。

参加費用：600円 ※お弁当別途500円ご予約お受けします。

お預かり：無料 先着10名（3か月以上）子育てサポーターばれぼれ

講座内容：

- ① 配偶者とは？控除廃止による税制変化と家計バランスについて
- ② 30代～70代の女性に尋ねる生き方塾
- ③ 質疑応答と参加者同士の交流会（持参したランチを食べながら交流します）

申込方法：NPO法人 色彩心理診断士協会 COMPAS 〆切：11月14日（金）

電話、ファックス、Eメールにて、住所、氏名、電話番号をお申込み下さい。託児の方については、お子様の名前、月齢、性別、保護者氏名、ファックス番号がメールアドレスをお知らせください。改めて持ち物等の連絡をします。

TEL：0538-86-3486 FAX：0538-86-3487

MAIL：info@npo-compas.com http://www.npo-compas.com

主催：NPO法人 色彩心理診断士協会 COMPAS
共催：子育てサポーターばれぼれ・NPO法人あざれあ交流会



菊川会場

開催日時：

平成26年11月21日（金）10：00～13：30

開催場所：mama's ShareShop Soramame

（菊川市本所 1171-4）

スケジュール

10：00～12：00 講演会と生き方塾

12：30～13：30 参加者同士の交流会

（自由参加：ランチをご持参）

参加人数：13名（女性13名）

講座内容：

①これからのあなたの家計を考える！配偶者控除廃止についての勉強会

講師・ファイナンシャルプランナー 前田菜穂子

②先輩ママに聞く生き方塾

③質疑応答と参加者同士の交流会（持参したランチを食べながら交流）

事業内容

1.ごあいさつ

菊川子育てサポーターばれぼれの倉部光世より、ばれぼれの活動や今日の託児について、会場のシェアショップについての説明。COMPAS代表 栗山恵より、この事業の主旨と助成金についての説明を行い、COMPASの普段の活動について5分程度で説明。

講師の前田氏のプロフィールのご紹介。

2. 基調講演

講師：前田菜穂子氏ファイナンシャルプランナー

★ワタシは！我が家は！いくら稼ぎたいのか？稼ぐべきなのか？という話でスタートした基調講演。まず初めに配偶者とは？という基本的な概念についてお話し下さい



控除の仕組みを真剣に聞く参加者

ました。そしてその配偶者に対する所得税法上の仕組みと、控除額について表を用いてわかりやすく説明下さいました。比較的小さいお子様（1歳から3歳）を持つママが参加してくださっている事もあって、控除の仕組みがどのようになっているのかを丁寧に話してくださいました。また、パートや共働きになると年金や保険がどのように課せられるのかも加えて説明くださったため、仕事をしていらっしゃる方も多かったのが、今後の参考になることが多かったようです。

一家庭での世帯所得に焦点を当てて、子どもの成長に合わせてどのくらいの資金が必要になるのかをグラフを用いて説明してくれたため、自分がパートなどでどの程度の費用を稼ぐ必要があるのか？具体的に理解できたようです。

また、疲れない貯め方、稼ぎ方をする上でどんな準備をすればよいか？夢の現実シートを使って話してくださいました。

3.30代からの女性に尋ねる「生き方塾」

今回は人生のちょっとだけ先輩にあたるばればれ代表の倉部氏、COMPASから阿部、栗山の体験をもとに、各年代における経験談をお話ししました。

3. アンケート結果

磐田会場

仕事をしたいという方が非常に多く解答を頂きました。理由として、自由に使えるお金が欲しいという収入面を考えての意見が多く、続いて、自分のやりたいことを実現する為にお金が必要と考える自己肯定・実現派、社会と少しは接していきたいという社会貢献派のご意見が寄せられました。

- ・自己実現、女性の生き方の実現
- ・社会と少しは接していきたい
- ・自分のため
- ・社会貢献というとおこがましいですが、住んでいる地域をもっとより良く住みやすいよう子育てしやすい街にしたい。子育てが楽しい親を増やしたい
- ・自由に使えるお金が欲しい。
- ・やりたい事だから。
- ・収入を増やす為
- ・収入を得たい、学んできたことを役立てたり、更に自分を高めたい
- ・生きがいのため、自分も人も笑顔にしたい

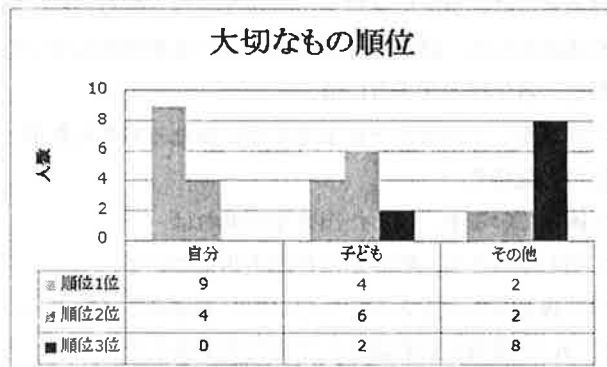
逆に仕事をしたくないという意見では、下記のような意見が出ています。

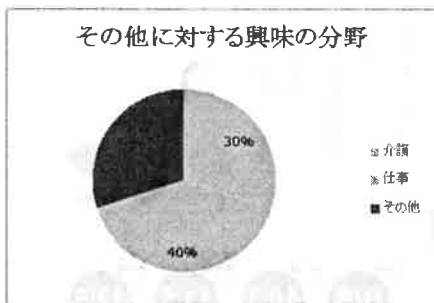
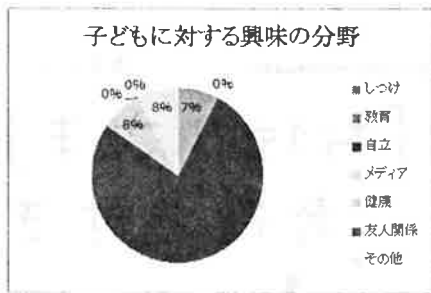
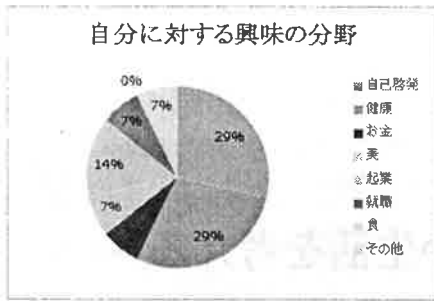
- ・旦那の給料で生活が出来る
- ・自分にできるボランティア活動を続けたい

仕事をする上でネックがあるか聞きました。

7割があると答えています。

その理由として、母親という立場や家事、パートナーの親と自分の親の二重の介護を担っているという現状、容易にその役割から外れることが出来ない環境、自分が働くために必要な周りの理解、何より自分自身が環境に流されないという性質を作り上げる事という回答が寄せられました。





何に対して興味を持っているかを、自分、子ども、その他に分けて回答を頂いたところ、上記表のような結果となりました。

自分のこと：自己啓発と健康が多い傾向、次に起業という結果となりました。

子どものこと：子どもの自立を願う傾向が強く、そういう意味では今後キャリア教育の必要性を物語っていると感じます。

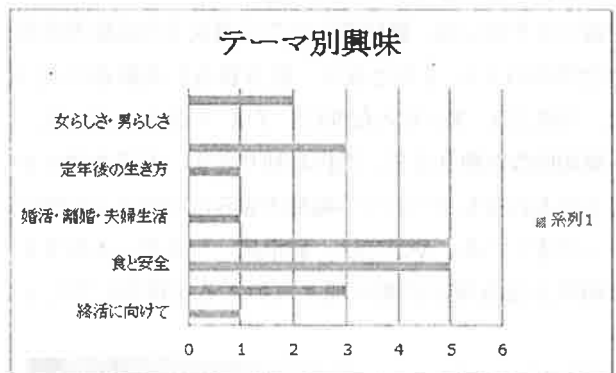
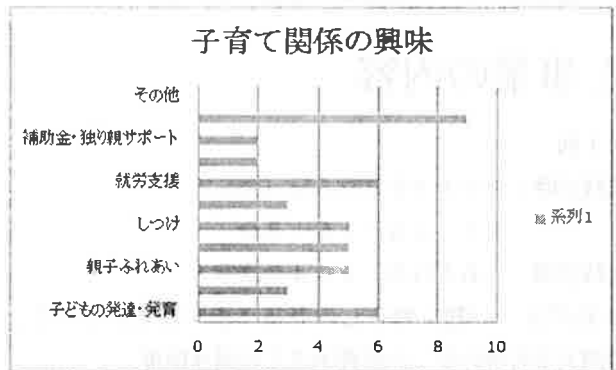
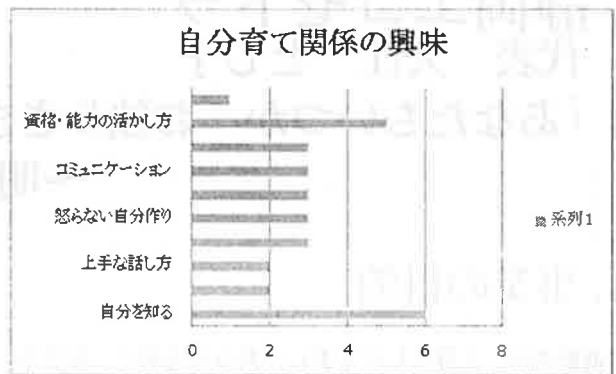
その他：家庭生活における老後の見通しに不安を感じている方が多いことが予想されます。

ランチを取りながら、白柳先生を囲んで質疑応答、参加者同士の交流を図りました。

- ①主婦でも確定申告をしなくては行けないのか？
- ②起業を考えているが、扶養控除は受けられないのか？
- ③ 130万を超えるなら目一杯働かないと損と考えてよいのか？などの税制上の質問等がありました。

感想としては

- ①できちゃった婚がなぜいけないのかが分かった。
- ②家族やご先祖さまからの命の繋がりの大切さが理解できた。
- ③自分が親として子どもに伝えられることは、自分の目で確かめて選択するという事。などの意見がよせられました。



静岡エコセトラ

代表 入江 とし子

「あなたもいつか お独りさま」

～明るく楽しい生活を考える～

1. 事業の目的

高齢者の一人暮らしの望ましいあり方を考え、社会からの適切なサポート体制などを探っていく。

2. 事業の内容

第1回

実践日時：2014年9月5日（金）

13:30～15:30

実践会場：あざれあ 504会議室

事業内容：「独り暮らしの老後 まず現実を知ろう」

静岡大学名誉教授 小桜義明さんの講座開催

1 高齢者、独り暮らしの人口実態

平成26年度には、静岡県内の75歳以上の高齢者世帯が全世帯の56.2%となり、独り暮らし高齢者の人口は、男性21,429人女性は、74,732人という。

結果的なお独りさま、選択お独りさま、若者お独りさまと日本社会もヨーロッパ福祉国並みにピラミット型になってきている。やがては、肩車式 一人が一人を支える時代となる事は自明の理と言わざるを得ないでしょう。



老後の現実を語る小桜氏
2 高齢者の自立

お独りさまが（やがては老後を迎える若者も含めて）衰えて死に向かうだけの期間とせず、してもらいたいより、してあげること、愛されるより愛する事、憐れみや

平成26年度あざれあ地域協働事業

講演＋ワークショップ

「お独りさま」の 老後を生きる

独り暮らしは？
楽しく暮らすには？

一人でも自立して
最後まで
人々の下り坂を

第1回 9/5 全
第2回 10/3 全
第3回 11/5 水
第4回 12/5 全

各回 13:30 ~ 15:30

会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ 静岡駅から徒歩5分
主催 静岡エコセトラ ☎054-209-3773 (入江)
協力 エコハウスしずおか・ふれあいサロン
NPO法人WAC清水さわやかサービス「ふれあいの家・茶らん梅が岡」
シニアライフ支援センター・静岡国境創業塾くらげ

同情の対象とならないよう「明るく元気に」暮らし、地域、社会、仲間、友人に関わりあいを積極的に求めていくことが大切。いかに生きて着地するか考えたい。

3 高齢者の生き方・期待すること

経験豊富な高齢者の生き方は、若者の生き方をも含み自立した生きがいある生活を送ることが肝要でしょう。人生の下り坂をどう降りていくか、どう着地するか。持てる経験の蓄積を活用していくことが大切。

お独りさまに期待する事①孤独に耐える②自分を必要とする人との出会い③持てる経験、知恵を提供。いかに死ぬかは、いかに生きるかということ。

アンケート結果：

アンケート総数33（女性29 男性4）
大変よかった 20（女性16人 男性4人）
よかった 12（女性12人）

講座内容

毎回 13:30~15:30

	月日	テーマ	講師	会場
1	9月5日(金)	独り暮らしの老後 まず現実を知ろう	静岡大学名誉教授 小原義明さん	5階 504
2	10月3日(金)	独り暮らしの食卓 食べ方の知恵と工夫	(株)LCウエルネス 代表取締役 見野孝子さん	3階 生活関連実習室
3	11月5日(水)	独り暮らしの健康 上手な医者のかかり方	えのもと内科・ 循環器科院長 榎本信雄さん	3階 生活関連実習室
4	12月5日(金)	独り暮らしの法律 最後まで自分で決める	弁護士 伊藤嘉奈子さん	5階 502

問い合わせ・参加申し込みは、またはFAXで下記へ
054-209-3773(入江)まで

参加申込書

お名前()

電話番号()

参加希望を○で囲んでください

全4回 9月5日 10月5日 11月5日 12月5日

あまりよくなかった 1 (女性)

よくなかった 0

*「高齢期に入った自分の生き方が、次世代の人のモデルに少しでもなれる生き方をしたいと思います。」という感想に象徴されるような講師の熱っぽい、濃密な語り口で参加者自身がいかにかぎたいか前向きに自分を問うてみる講演でした。大変好評でした。

対象者：50代以上

参加人数：49人(男性7人 女性42人)

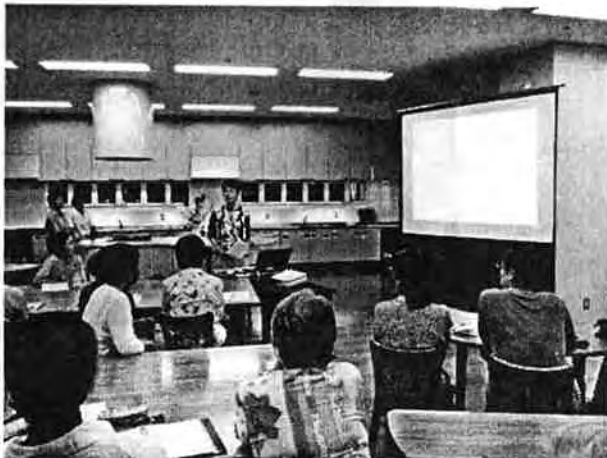
連携・協働団体等

静岡団塊創業塾 くれば

エコハウスしずおかふれあいサロン

ふれあいの家 茶ろん梅が丘

第2回



食べることの大切さを考える参加者

実践日時：2014年10月3日(金)

13時30分~15時30分

実践会場 あざれあ 3階 生活関連実習室

事業内容 独り暮らしの食卓 食べ方の知恵と工夫

(株)LCウエルネス

代表取締役 見野孝子さん

1 食べる事は生きること

高齢期は、食べる意義が大きくなる。食べることは、栄養摂取のみならず生きていることの肯定でもある。

2 マズローの5段階欲求

・生理的・安全・社会的・尊厳・自己実現の5つが基本的なものである。介護の現場では共食環境を作ることによってこれらの欲求を満たす努力をしている。

3、健康寿命延伸のためのおいしい食事

人間は、食べる、しゃべる、笑う時同じ筋肉を使うので生活のリズムを作り「楽しさ」の共有として「食べる」ことを考えていきたい。独り暮らしの人は、しっかり生きてきている人が多いので、必要な時気持ち良く手助けしてもらえ関係作りが大切になってくる。

*老人食というごはん、かゆ、とろみ入りかゆの試食をし その噛みごたえのを体感した。実習的講座で楽しかった。

参加人数 31人

第3回

実践日時：2014年11月5日(水)

13:30~15:30

実践会場：あざれあ 3階 生活関連室

事業内容：独り暮らしの健康 上手な医者のかかり方

えのもと循環器科・内科医院長 榎本信雄医師

1 まず健康な体を保ち続けること

転倒に気をつける。何かにつかまる。

介護が必要になる原因は、脳卒中がダントツ!

食べる楽しみは、食事療法に勝る健康法と言ってもいいかも知れないが、健康の3要素は、食事・運動・睡眠です。基本「寝る」寝れば回復すると考えていい。

高齢になって大事なことはまず、・血圧に気をつける。(高くしない)・140/90以下がよい。

・コレステロールの値は、少々高くても気にしない。薬は飲まなくてよい場合が大半。

・糖尿病 軽い糖尿病なら食事や運動を続け様子をみる。

2心の健康

趣味、楽しみを持ち好奇心をもって日常を過すことに努める。自分のやりたいことをやる。

コミュニケーションは、積極的に。1人または複数の人に



参加者の鋭い質問に笑顔で答える榎本医師

対応するので相手にあわせて対応するため脳の活性化に役立って認知症の予防にもなる。

3、上手な医者のかかり方

・かかりつけ医を持つこと。遠くの名医より近くの医師。

よい医師は、検査をやたらやらないし薬もたくさん出さない。

サプリメントより食事に気をつける。

・独り暮らしでは、急病になった時のことを考えて対処しておく。

保険証・お金・着替え・家のカギ・着替えなどは、わかるようにしておく。何かあったら近隣に頼める関係を日頃からつくっておくことも大切。

4、豊かな老後に必要なものは？

少しのお金と3種の神器

- ① 信頼できる かかりつけ医
- ② 信頼できるケアマネージャー
- ③ 頼りになる地域包括支援センター

*少しのお金ってどのくらいの金額でしょう？の質問に「葬儀の仕方をはじめ個人それぞれ違うので人それぞれ」「まあ少しのお金でしょう」に大笑い。

参加人数 32人

第4回

実践日時：2014年12月5日（金）

13:30～15:30

実践会場 あざれあ 5階 502会議室

事業内容 独り暮らしの法律 最後まで自分で決める
弁護士 伊藤嘉奈子

はじめに

財産管理など終活は大事だけど今現在を生きること。

1 成年後見人制度の概要

明治時代からすでにあった。そのまま改正されないまま

だったがH12年4月に改正され、介護保険が始まった。判断力の不十分な本人に代わって当事者と施設との代理契約を結べるように措置から契約という制度に改正された。

2 成年後見人制度の理念 これ以降については資料添付

- ① 自己決定の尊重
- ② 残存能力の活用
- ③ ノーマライゼーション

・成年後見人制度の仕組み（資料で全体像）

・どんな人に対して使えるのかなど仕組みの中に出てくる専門用語の解説

・どんなことをしてくれるのか

A、財産管理 B 身上監護 被後見人の生活や療養看護に関すること C 家庭裁判所の指示に基づき、定期的に財産目録を提出する

・誰が家庭裁判所に対する申し立ての手続きをするのか

・どのような人が成年後見人に選定されるのか

・後見人等の報酬について

以上の解説後、具体例を列挙。

3、任意後見人制度の概要

本人が事前に、任意後見人の人選。その任意後見人に与える代理権を決定する。制度

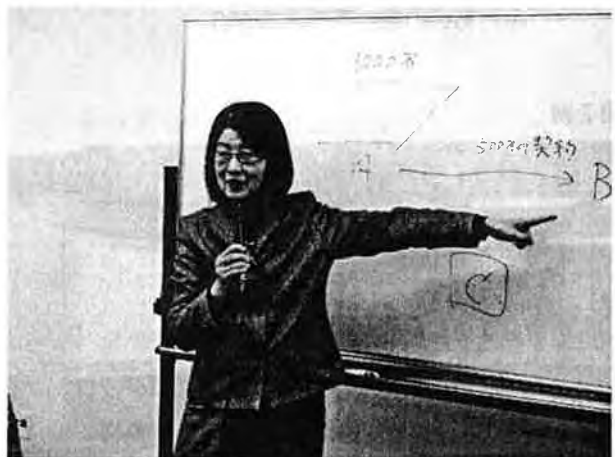
その利用方法や使い方のパターンを提示、解説

4、日常生活自立支援事業

どこがどのように行っているか、地元の社会福祉協議会に申し込んで相談できる。

*専門用語をやさしく温かい語り口で資料を提示して説明された。信頼感が最も大切な仕事をやっているからだと強く感じた。

参加人数 38人



ほけても大切なお金は守らなくては・・・

3. 今後の展望

*協働団体の関わり

団塊創業塾「くれば」の会員 エコハウスしずおかふれあいサロンの会員の参加があり、場所や内容を説明して頂いた。

それぞれの会の特徴や活動を紹介され「独り暮らし」の方や高齢者が集いやすい場所を工夫し、運営している人も参加者の一員として楽しんでいる様子がうかがえた。学習の場、遊びの場、休憩、しゃべり場、ランチする場などあり受講者の皆さんも関心を持ってくれたようでした。協働団体3か所のパンフレットなど配布し積極的な利用を勧めた。

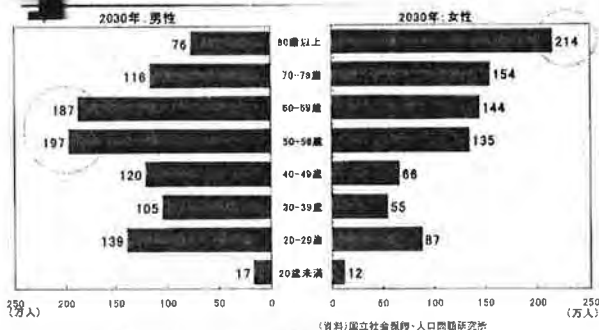
第3回



おひとり様は心も体も健康でなくてはけません。

第1回

男女別・年齢階層別にみた 単身世帯数の変化(実数、2030年)



おひとり様は老後が増える。女性は80代が一番多い!

第4回



ぼけてしまってからでは遅い! 成人後見人制度について学ぶ。

第2回



高齢者の自助はむずかしい。共助を得るために必要なことは?

誕生学アドバイザー静岡県講師会

代表 山田 とも子

「小中学校における誕生学®プログラム協働事業」

1. 事業の目的

公立小学校における人権、生命観を啓発する学習機会の創出。昨今、いじめや自殺防止の授業に取り組む小中学校において地域で活動する講師と連携した「いのちの授業」を行う機会とする。誕生学®は、いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラムである。生まれてくる力、産みゆく力、いのちをつなぐ力について各学齢にあわせた伝え方をし、自己肯定感を高める機会とした。

2. 事業の内容

公立小学校と講師と地域（乳幼児家庭）が協働する誕生学®プログラム授業。県内17小学校にて、誕生学アドバイザーがいのちについての出前授業を実施した。（添付資料：実施校一覧）希望する学校には、乳幼児母子が赤ちゃんゲストとして来校し交流した。赤ちゃん交流実施1校。



育児について質問し交流した（青島北小）

3. 事業の実績

- ・対象者：小学生と教職員、保護者、地域の方、赤ちゃんゲストとして乳幼児親子
- ・参加人数：児童1,140名、教職員・参観保護者248名、赤ちゃんゲスト親子：3組6名
- ・連携・協働団体等名称：公立小学校17校、まるの輪（おむつ無し育児の会）



9名の講師が17校を担当した

4. 事業の効果

誕生学®出張授業の案内文書を6市1町の公立小学校へ配布し、応募のあった17校で実施した。（昨年度、あざれあ地域協働事業で講師派遣した学校は除く。）地域の誕生学アドバイザー講師が学校へ出張し、いのちや人権について各学年に分かりやすい言葉で伝える事ができた。いのちやうまれるということに興味深く受け止めることができたことが、感想文などからも伺える。講師と教諭が、各小学校で事前に打ち合わせを行い、児童の様子や地域性、家庭環境などもヒアリングし、教諭の誕生学授業へ期待や連携事項を確認し授業に臨んだ。今年度、小規模校から講師派遣の希望が寄せられ実施した。大規模校、小規模校、様々な学校現場での経験は、当会の講師メンバーにとっても大きな学びであった。

講師が45分～90分の出前授業を行い、学校の教諭が生徒の家庭環境なども配慮した声かけをし、各学年の保健や福祉の授業、学校保健委員会へつなげるなど、お互いの専門を活かし合う連携の機会となった。学校から保護者へ参観について案内したり、学校開放日にあわせて講座を実施したりと、児童保護者に限らず祖父母や放課後児童クラブ指導員等、地域の方にも参観していただけた。多世代の方に講座受講していただけたことも今年度の成果である。誕生学授業の様子は、新聞紙面へも掲載された。（添付資料2：新聞紙面参照）計18講座を実施し、県内で1,140名児童が参加。各地の小学校、保護者、地域の方との協働の機会を持ち、人権、生命観、男女共同参画の啓発事業とすることができた。

誕生学®プログラムを学校の授業へ取り入れてみませんか？

誕生学®は、子どもからおとなまで全世代に妊娠出産の仕組みを通して、
いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラムです。
誕生学アドバイザーが学校へ出前講座に参ります。

誕生学アドバイザーによる授業とは 1講座 約10～90分

自分が誕生したときに、自分が発揮した生命力を解説パネルや映像で説明します。
誕生という視点から、各世代が自己や友人、家族や自分の将来を見つめ直す機会とします。

自分が誕生した時、自分が発揮した生命力を
パネルやDVD映像、年齢にあわせた言葉で解説します。

みんなのいのちのはじまり、
一番最初どのくらいのおおきかったかな？

うまれてくるときに
「いのちの道」を通るよ。
帝王切開は、お母さんのおなかに「いのちの道」をつけてもらったの

お腹の中にいる時から、指を
吸っておっぱいを飲む
練習・予習をしていたよ。

生まれる時に、すごい才能を
発揮したんだよ。

部位名称の説明だけではなく
うまれてきてよかったと自尊感情を持つ機会にします。

小中学校での活用事例

- ・小学校の学校保健委員会
- ・小学二年生の生活科と連携授業
- ・二つの一の成人式との連携授業
- ・小学校高学年～中学生へ第二次性徴期についても言及する誕生学授業

昨年度の助成金事業実績

県内〔市（12小学校1中学校）計13校〕

公益社団法人誕生学協会 www.tanjo.org

誕生学協会は、いのちの大切さに関する知識の普及及び啓蒙を行う団体です。ただ妊娠出産のしくみの学習をするのではなく、自信感情を育むことも目的としています。生まれてきたことの増進感覚が薄いと望まぬ妊娠や産後鬱になるなど、自分のからだを守る意識も薄くなります。子どもたちの存在を受け止め、自己肯定感を育て、いのちを大切に作るセンスを育みます。2007年より団体として講師育成や授業普及活動を始め、2011年公益社団法人として認可されました。

誕生学アドバイザーは、公益社団法人誕生学協会の認定資格で助産師や産婦人科医による技能審査を修了しています。

公益社団法人誕生学協会 静岡県支部

主催：誕生学アドバイザー静岡県協議会

共催：IIPO 法人静岡県男女共同参画センター交流会議

協働：母力向上委員会、IIPO パディプロジェクト

事業の流れ

- 9月初旬迄 県内で希望校を公募
- 9月中旬 実施校を決定し通知
地域の誕生学アドバイザーと日程や授業についての打ち合わせ





人形で赤ちゃんの実際の大きさを確認する子どもたち

5. アンケートの結果

小学生より

- ・自分も父親になる日がくるので、いのちを大事にしていきたい。(六年生男子)
- ・人間は家族やまわりの人たちがいないと生きていけないんだなと思いました。妹はよくケンカをするけれど、もっと家族を大切にしたいくなりました。(六年生)
- ・一番心に残ったことはDVDの中に出てきたお母さんが赤ちゃんをうんでいるところです。お父さんとお母さんが一生懸命協力してうんでいたからです。(四年生)
- ・命は、いじめられるためにでも、いじめるためでもなく、人の優しさを知り、人の大切さを知り、人に愛されるためにうまれてきているんだなと思いました。そして私は、多くの人がそうであるように大切な人は一番そばにいるのだということが分かりました。(五年生)
- ・ぼくは生まれてきたことが奇跡だと思っています。お母さんがこれだけ苦労してぼくを生んでくれて本当にうれしいです。生んでくれたお母さんが大好きです。お母さん生んでくれてありがとう。いつもいっしょだからね。(三年生男子)
- ・私がどれだけ大切に育てられたかが分かりました。9歳になるまで9年間ずっと大切に育ててもらいました。わたしがまるでお花になったような気がします。(三年生女子)

先生方より

- ・事前打ち合わせで、発達段階に合った資料、進め方を決めたことで、子どもや保護者に分かりやすく伝えることができ良かったと思いました。子どもたちは、自分の誕生に大きな関心を持っていました。
- ・子どもたちの気持ちに寄り添った「いのちの道」等の表

現を使っていたので、子どもなりにすんなりと受け入れることができたようです。授業の後も、男女間で相手を尊重した関わりが見えるようになってきています。出産のメカニズムだけでなく、命に視点を置いて教えていただいたことがとても良かったと思います。図、模型、ビデオなどいろいろな方法をとっていただいたこともよかったです。

- ・誕生学を学んだことで、子どもたちは自分のすごさを感じていました。このような機会を設けられたことで、家庭でも子どもと保護者がうまれることについて話すことができ、どの子も嬉しそうに学校で話してくれました。大人にとっても子どもにとっても心あたたまる貴重なお話だったと思います。
- ・普段見られない子どもたちの真剣な表情を見ることができた。講師である利点だと思いました。
- ・今日のようなスペシャリストが丁寧に説明して下さると理解しやすいし論理的でさらっと流れていて良いと思う。
- ・4年生の発達段階に良く合った内容でした。二分の一の成人式に向け、また今取り組んでいる福祉とのつながりも大きく、自分の命、人の命の大切さを感じるとても有意義な時間でした。
- ・子どもだけでなく私たち大人も聞くべき内容だと感じました。授業では、ここまでじっくり話をすることができないので、このような機会があるととても良いと感じました。子どもたちにしっかり知ってもらい、命の大切さを感じてもらいたいです。
- ・単年度の実施ではなく、複数年継続して行えるならばより効果が高いと思います。

保護者より

- ・いのちの大切さをどう伝えたら良いか悩んでいたのに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。赤ちゃんゲストとして来校したお母さんより
- ・元気で素直な小学生と会えて嬉しかった。
- ・赤ちゃんとの日常では、学校に入ることなどないので久しぶりで新鮮だった。授業を見学できて良かった。映像も一緒に見て感動した。また、誕生学授業に参加したい。

NO	地区	小学校名	対象学年	児童数	母	父	男女	実施日	担当講師	その他
1	裾野	裾野市立深江小学校	6年	33	430	(23)	3	11/27	横田	
2	裾野	裾野市立西小学校	4年	103	(17)	(58)	32	10/22	横田	
3	小山町	小山町向輪小学校	4, 5, 6年	90	(16)	(11)	10	11/26	榊	
4	小山町	小山町成美小学校	4年	28	(14)	(14)	4	11/19	榊	
5	三島	三島市立西小学校	4年	59	(27)	(32)	3	12/2	加賀	
6	三島	三島市立銀地小学校	6年	34	(23)	(11)	7	11/28	加賀	
7	三島	三島市立窪田小学校	4年	81	(17)	(34)	4	11/21	小野	
8	富士	富士市立青雲台小学校	2年	42	(20)	(22)	13	11/27	島田	
9	静岡	静岡市立市川小学校	1-6年	8	(0)	(4)	13	11/12	滝	
10	静岡	静岡市立藤原小学校	4年	42	23	19	9	11/27	横山	
11	静岡	静岡市立松野小学校	3-6年	28	(17)	(11)	6	10/20	滝	
12	静岡	静岡市立森町小学校	2年	68	(38)	(30)	50	11/29	榊	
13	静岡	静岡市立高部東小学校	5年	108	(50)	(58)	12	12/4	坂原	
14	静岡	静岡市立植野小学校	4年	93	(52)	(41)	17	12/5	森澤	
15	藤枝	藤枝市立岡部小学校	4年	94	(52)	(42)	25	9/25	山田	
16	藤枝	藤枝市立青島北小学校	4年	82	(10)	(43)	20	11/12	山田	有(まなぶ輪)
17	藤枝	藤枝市立高洲小学校	3年	125	(61)	(64)	18	11/23	山田・金田	2年(122名)3年(4名)計
		計17校18講座		1,140	(545)	(511)	248			

実施一覧

競争 昇昇 乗升 昇昇

平成26年(2014年)9月26日(金曜日)

藤枝・岡部小で誕生学授業 4年生、命の大切さ学ぶ

藤枝市立岡部小で25日、命の大切さなどについて学ぶ誕生学の授業(同校・誕生学アドバイザー・誕生学アドバイザー・NPO法人県男女共同参画センター交流会議共催)が開かれた。4年生約95人が赤ちゃんが生まれるまでの過程などを学んだ。同会の山田とも子代



命の大切さについて学ぶ児童＝藤枝市立岡部小

表が講師を務めた。山田代表はパネルや人形を使って、母親の体内に宿る胎児の成長の様子などを紹介。「おなかにいる時から指を吸っておっぱいを飲む練習をしている」としぐさも伝えた。山田代表は「生まれ

てきたこと自体がすごい。体の仕組みを知り、体の変化に一人で悩まずに相談して」と語った。授業は本年度のあきれあ地域協働事業の一環。同校を皮切りに県内17小学校で同様の授業を行う予定。

ぬまづ男女共同参画ネットワーク

代表 鳥羽山 信子

「東日本大震災から学ぶ 地域防災」

1. 事業の目的

津で活動する団体が、日頃培ってきた力を活かしながら協働し、男女共同参画の視点を取り入れた、多様な人々が安心して生活ができる災害に強い「まちづくり」を考えていきたい。

2. 事業の内容

実践日時：平成 26 年 10 月 18 日 (土)

13:30～16:30

実践会場：プラザヴェルデ 4F407 号室

(沼津市大手町 1-1-4)

事業内容：男女共同参画の視点で考える地域防災についての講演会

第 1 部 「そのとき、市民は、行政は、」

宮古市役所 危機管理監 山根正敬さんの講演

第 2 部 「女性のチカラを災害に活かす」

元東京消防庁丸の内消防署長 谷口由美子さんの講演

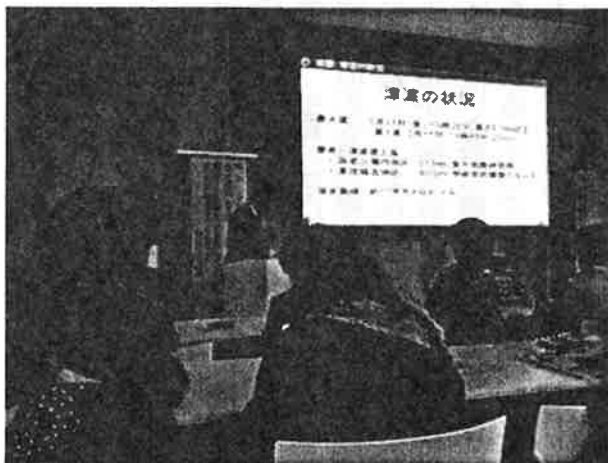
対象者：一般人

参加人数：100 人

連携・協働団体等名称：アミーぬまづ、

県東部文化交流会・和、沼津市消費者協会、

沼津市まどか女性防火クラブ



山根正敬さんの津波被害の話に真剣に聞き入る参加者



「女性の力を防災に」谷口さんの講座が始まります

男女共同参画の視点で考えよう！

東日本大震災から学ぶ 地域防災

参加無料

受付 13:00~
10/18 13:30~16:30

会場 プラザヴェルデ 4F407号室
沼津市大手町1-1-4 (沼津駅北口から東へ徒歩3分)



第 1 部 「その時、市民は、行政は、」

講師 山根正敬さん(宮古市役所 危機管理官)

第 2 部 「女性のチカラを災害に活かす」

講師 谷口由美子さん (公益財団法人東部防災協会 元東京消防庁丸の内消防署長)

※講師プロフィール/参加申込は裏表をご覧ください。 問合せ先 090-5107-5213 加藤

主催：ぬまづ男女共同参画ネットワーク アミーぬまづ 県東部文化交流会 和/沼津市消費者協会/沼津市まどか女性防火クラブ

共催：NPO 法人あざれあ交流会 後援：沼津市

静岡県委託事業

平成26年度

「あざれあ地域協働事業実践報告書」

平成27年3月1日発行

編集・発行

特定非営利活動法人 静岡県男女共同参画センター交流会議

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17番1号

Tel: 054-250-8147/Fax: 054-251-5085

URL: <http://www.azarea-navi.jp/>

印刷

株式会社 ニシガイ